

門司中学校 実践交流会

分散会 第3ブース

美術科 第2学年

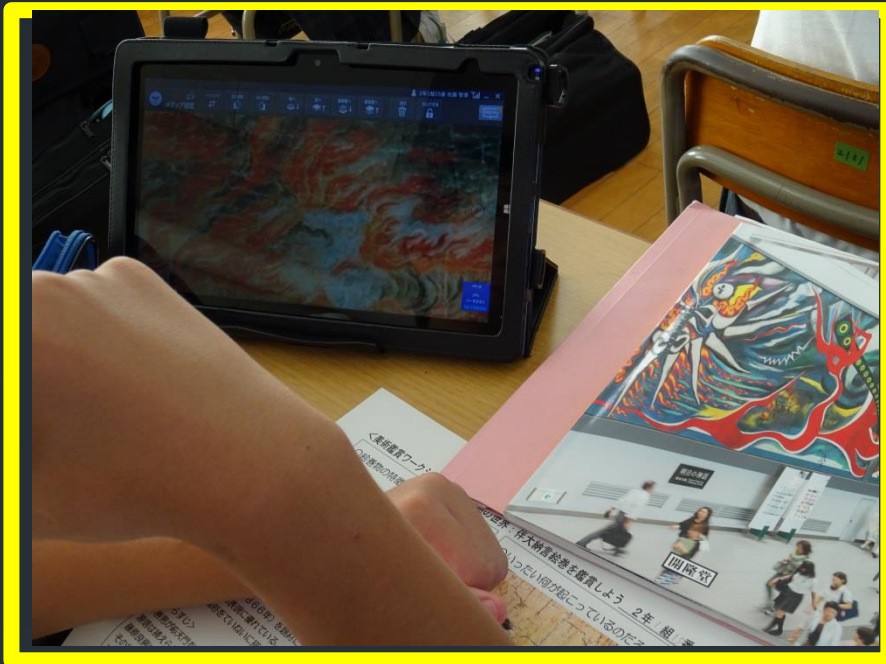
単元名

「鑑賞：絵巻物の世界～伴大納言
絵巻を鑑賞しよう～」

授業のねらい

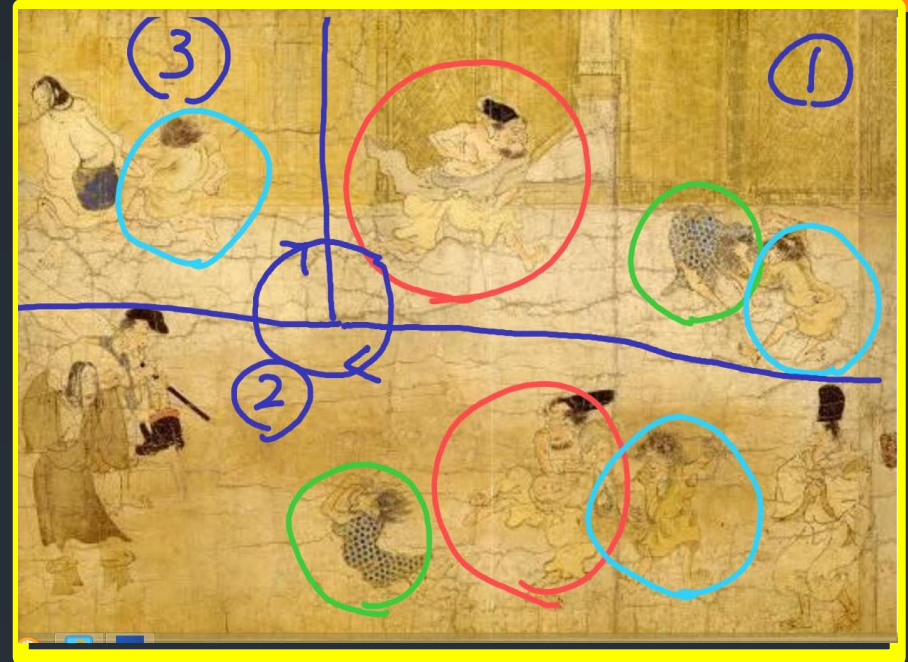
タブレットPCで作品をスクロールしながら、絵巻物の見方や使用されている表現技法を学ぶことができる。また、作品を自由に拡大、比較することで、自分の考えを深め、相互に発表することで新たな価値観と出会うことができる。また、タブレットの異時同時図の画面に、自由に登場人物に印をつけ、「何がおこっているのか」理解することができる。

ICT機器の活用場面①



・天安門が燃えているのを眺めている2つの集団の表情から、どちらが貴族か選び、その理由を「みんなの広場」に送ってお互いの考えを共有する。

ICT機器の活用場面②



・異時同時図の登場人物に印をつけ、「何が
おこっているのか」自分の考えを送り、お互いの考
えを共有し、異時同時図法を理解する。

生徒の反応

○タブレットPCの操作に慣れている生徒が多く、スムーズに鑑賞の授業を行うことができた。

クラス全員の考えを同時に見ることで、考えの違いに気づき、話し合う場面が多く見られ、関心を持って鑑賞の授業に取り組むことができていた。

○タブレットPCで登場人物に簡単に印をつけることができるので、3つの場面がわかりやすく展開し、異時同時図法の理解に役立てることができた。

●一部の生徒は、ミライシードの使い方に不慣れな様子で、「みんなの広場」に自分の考えを送るのに、時間がかかっていた。

成果と課題

<成果>

○教科書の画面だけでは、細部の表現がよくわからないが、タブレットPCを使うことで、詳細な表現を知ることができる。また自分が気になる部分を、自由に拡大することができるので、より臨場感のある鑑賞の授業を行うことができたと思う。特に異時同時図法を学ぶ場面では、登場人物に自由に印がつけられるので、同じ人物が3つの場面を展開していることをしっかり理解させることができた。

<課題>

●タブレットPCの操作を慣れさせることが一番の課題であると思うので、タブレットPCを使った角度の違う鑑賞の授業をより多く経験させ、生徒の表現活動に生かしていきたい。